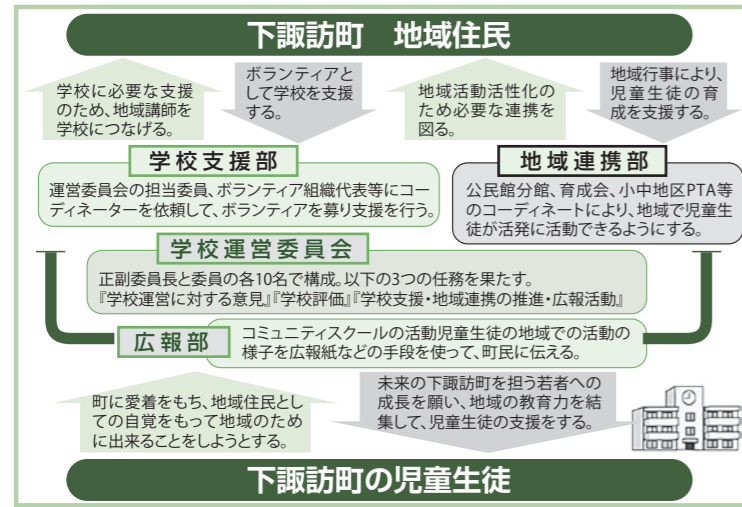


第4分科会 学校・地域連携 ～学校・地域連携による教育活性化～  
分科会テーマ 学校と地域の連携～どんな若者(未来の下諏訪人)を育てていったらよいだろうか～



本年4月から町内4小中で立ち上げた下諏訪町コミュニティスクール(左図)について、その活動の成果や課題を、また、児童生徒の地域での活動の様子について、コミュニティスクールの運営委員長、各部長から発表していただきました。特に中学生の様子については、4名の中学生から、直に活動に参加して学んだことなどの発表もしてもらいました。

その後、三つの分散会に分かれて、様々なご意見・ご提言をいただきました。

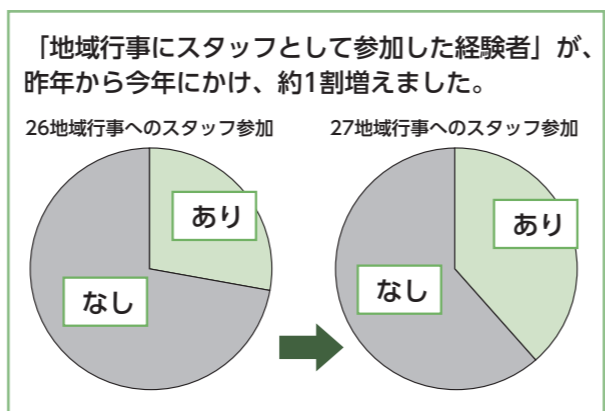


《参加者からの提言(抜粋)》

- まず、プラスの方向に向かうことを前提に、お互いのコミュニケーションをよくする、それぞれの意識も高くする、よかったことは続ける、ということが必要では。また、意義を広めていくことも大切だと思った。
- 地域で行事をやること、参加人数を増やすことを考えていくことは、必要ですが、それは、あくまで手段で、「目的は、自立した子ども、地域を担う子どもを育てることだ」ということを親に理解してもらおう活動が必要だと思う。
- 地区の受け入れができているところもあり、キーになるのは親、という意見はもっともだと思った。子どもと地域のつながりというより、子どもは大人を見て育つので、大人が地域にどう参加するのか、大人同士のつながりはどうか、が大事だと思う。

《第4分科会について》

- (今まで)地域の方の考えを聞く機会がなかったので、大変よい機会でした。地域の人と知り合う機会のない現代において学校側から、地域の方と触れ合う機会をつくる必要があると思った。
- 地域活動に参加した中学生の意見を聞くことができ、とても参考になった。大人が一方向的に与えるだけの活動では、限界があるのでは。子どもの気持ちを理解し、受け止めていくことが、必要ではないか。



《語る会を受けて、今後の方向》

- コミュニティスクール発足に満足せず、町にステキな若者が育つよう取り組んでいきたいと思えます。
- 1 地域連携においてPTAが、さらに関われるように町P連との連携を図っていく。
  - 2 学校だよりもコミュニティスクール関係の記事を載せていくなどして、さらに広報活動を活発にしていく。
  - 3 「ノース下諏訪ネットワーク(社中・北小)」 「なぎがまCS(下中・南小)」の2つのコミュニティスクールの連携を、さらに図っていく。

「未来の下諏訪教育を語る会」第2分科会・第3分科会

第2分科会 国際理解・英語教育

国際化が叫ばれて久しいわけですが、本当の意味での「国際化」というものを、どれだけの子どもたちが体験を通して学んでいるのでしょうか。子どもたちは両親の考え方に左右されている部分が多いだろうと推測されます。今の子どもたちが大人になる頃には、今以上に国際化が進み世界の公用語としての英語の存在もますます大きくなることでしょう。そこで、当分科会では、国際化のあり方・英語教育のあり方を討議の柱に絞り、様々な角度からグループに分かれ自由に語っていただきました。

1 国際化はどうあるべきか?

下諏訪町に住んでおられる外国籍の方は英語圏の人ばかりでなく、英語を話さない人も多いと思われます。わたしたちの英語圏の人に対する対応と、そうでない外国籍の人に対する対応が異なることを指摘されました。

大人になってからではなく、子ども(小学生、中学生)のうちから、英語圏のみならず外国籍の子どもたちと交流することにより、外国籍の人への抵抗感もなくなるでしょう。言葉が通じなくても、「子どもは子ども」、活動を通してすぐに親しくなることが期待できます。本会に参加されたブラジル籍の男性は、「とにかく積極的にかかわることが大切、わからないことは尋ねる、たどたどしい日本語も話すことに心がけてきました」等を示唆されました。事実、その男性の日本語の豊かさ、なめらかさにはグループ全員が驚嘆しました。

2 英語教育

「下諏訪町の子どもたちの英語の発音や聞きとりの力は素晴らしい。」Nativeが直接、1年生から英語指導をしている成果であります。中学校へのスムーズな橋渡しを考えると、「話す」「聞く」だけでなく、「読む」「書く」ことも取り入れていただきたいという要望が出されました。「話す」「聞く」力だけでは、実際の入試に対応できず、「書く」ことの不十分さにより、英語が嫌いになっていく生徒の話聞くことが多い、という意見もいただきました。



第3分科会 体力向上・社会体育

～学校体育と社会体育の連携によるスポーツ活動のあり方～

下諏訪町の子どもたちの体力を向上させるために、スポーツ好きな子どもたちを育てようという共通認識に立ち、子どもたちの体力向上やスポーツ活動のあり方について、フリートーキングにより活発な意見交換がなされました。

フリートーキングで下諏訪町のスポーツ活動のあり方について語り合う

- ◇下諏訪町のすすめている小中一貫教育にあわせて、合同部活動の問題を解決する上でも、下諏訪町の規模を考えると二つある中学校を一つに統合していくことについても考えていきたい。
- ◇体力向上に向けての取り組みや現状を、町の広報等を使って積極的にアピールしていきたい。
- ◇運動する場や機会を多く提供していきたい。
- ◇いろいろな立場の人が、一つの話でマルチに話し合いができて良かった。

来年度は、平成25年4月に策定された「下諏訪町スポーツ推進計画」に関わって語り合えればと考えています。

